

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	米子市役所	代表者名	伊木 隆司
担当者部署	秘書広報課	連絡先電話番号	0859-23-5372
担当者役職	係長	担当者氏名	末次 俊明
住所	683-8686 鳥取県米子市加茂町1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーの助言に従いワークショップを行ったところ、当方が所望していたロジックモデルの形成や、事業に対するマーケティング手法の示唆を得た。今後もアドバイザーの助言に基づいた事業のステップアップに大いに期待が持てる。
アドバイザーへの要望事項	今後ともご助言・ご指導を何卒よろしく願います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月30日	13時00分	15時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	メールマガジンマーケティングにより本市への関係性の拡大・深化を図る取組について、より具体かつ定量的な関係性の深化を示すための指標設定を目指すとともに、取組の内容についてノウハウが不足していることからそのアドバイスを求めるもの。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体かつ定量的な指標設定の検討ができるようになること。 ・本市の取組への客観的な評価や助言を賜うことで、職員のみでより精度の高い関係人口の拡大・進化に向けた取組を推進できるようになること。 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	本市の取組の精度を高めるため、自分たちのまちの魅力を発信するためのロジックモデルを作成するワークショップを実施した。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ワークショップを通じ、米子市を語るためのセンテンスや、市外者に対してどのようにストーリーを語ればいいのかを学んだ。また、当該ワークショップは、本市の取組であるメールマガジンに対するマーケティングにも代用できる手法と感じられた。今後のアドバイザーとの協議の中で、あるいは本市職員の業務の中で、もう一度実践を行いたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		

